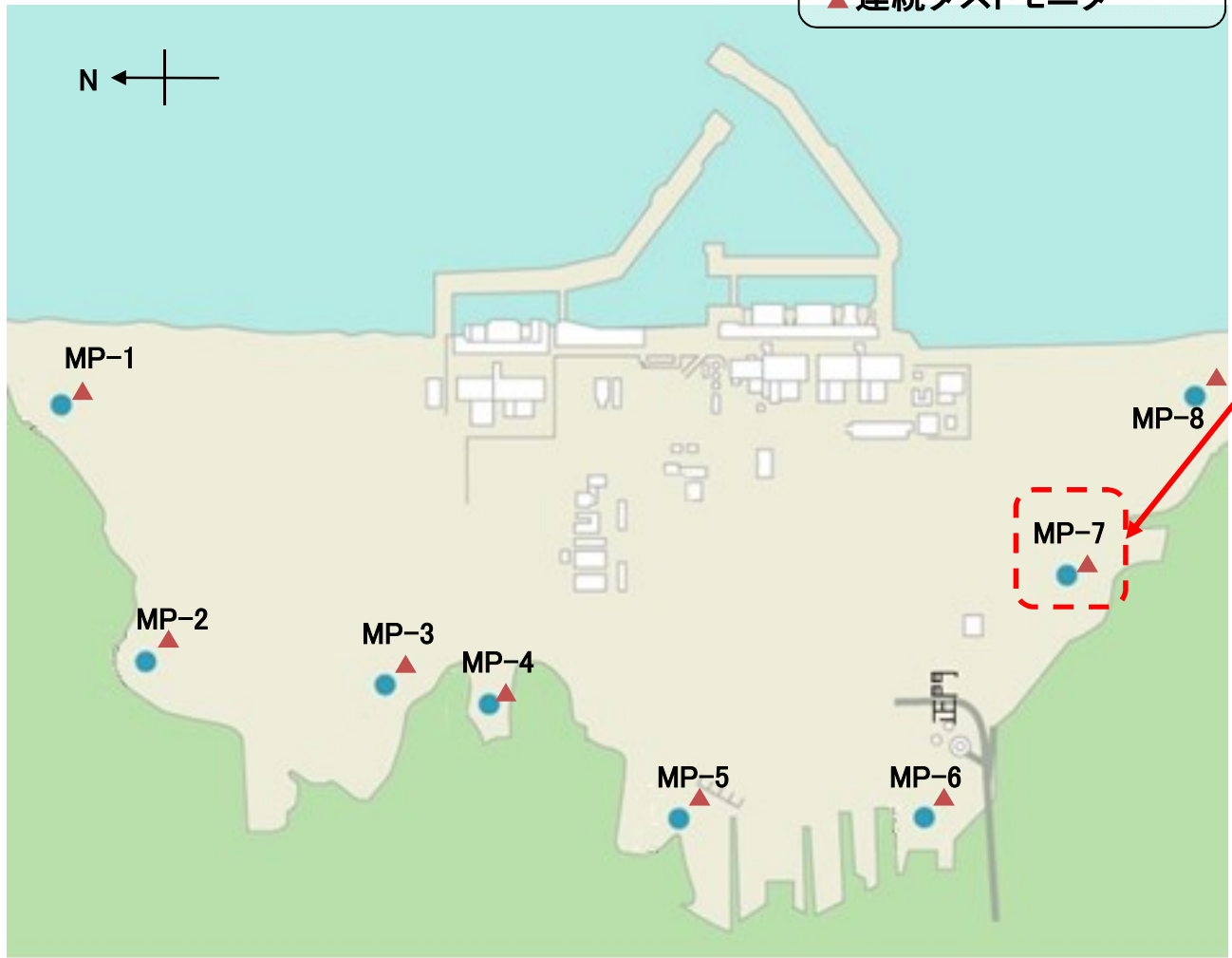


○連続ダストモニタの設置場所

- モニタリングポスト(MP)
- ▲ 連続ダストモニタ



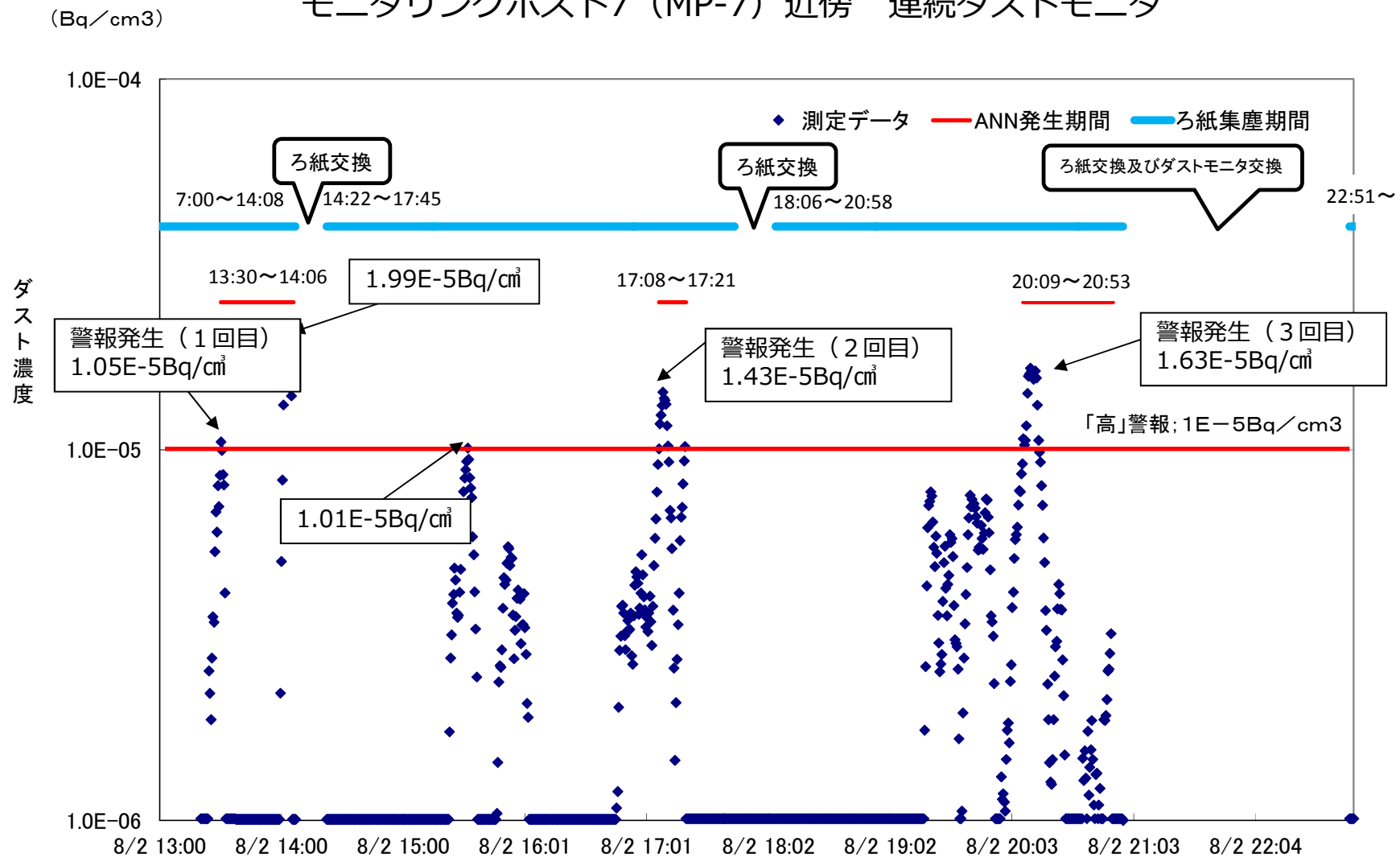
時系列

2016年8月2日（火）

- 13時30分 モニタリングポスト7（MP-7）近傍の連続ダストモニタ「高」警報（警報値： $1.0E-5Bq/cm^3$ ）発生（1回目）
※指示値：最大 $1.05E-5Bq/cm^3$ 、他のダストモニタ、モニタリングポストの指示値に変動なし
風向：南東からの風、風速：2.3m/s
- 14時01分 放射能「高」警報レベルに指示値が上昇
- 14時06分 連続ダストモニタ警報クリア操作
- 15時33分 放射能「高」警報レベルに指示値が上昇
- 17時08分 MP-7近傍の連続ダストモニタ「高」警報発生（2回目）
※指示値：最大 $1.43E-5Bq/cm^3$ 、他のダストモニタ、モニタリングポストの指示値に変動なし
風向：北北東からの風、風速：1.6m/s
- 17時21分 連続ダストモニタ警報クリア操作
- 20時09分 MP-7近傍の連続ダストモニタ「高」警報発生（3回目）
※指示値：最大 $1.63E-5Bq/cm^3$ 、他のダストモニタ、モニタリングポストの指示値に変動なし
風向：南西からの風、風速：0.7m/s
- 20時58分 連続ダストモニタの交換を開始
- 22時51分 交換後の連続ダストモニタ起動、以降、正常に動作していることを確認

データグラフ

モニタリングポスト7 (MP-7) 近傍 連続ダストモニタ



警報発生事象の確認と今後の対応

○警報発生事象の確認

- 当該連続ダストモニタ以外のダストモニタ、モニタリングポスト等に異常がないこと、また各プラントパラメータに異常がないことを確認
- また、当該連続ダストモニタ周辺において、ダスト上昇に繋がるような作業は行っていないことを確認
- 回収したろ紙の核種分析結果
 - 1回目；セシウム-137※：6.9E-9Bq/cm³、鉛-212：3.0E-8Bq/cm³
 - 2回目；検出されず
 - 3回目；検出されず

※なお、1回目の測定で検出されたセシウム-137は敷地周辺で検出される濃度と同程度であり、今回の「高」警報の要因とは考えにくい。

- 上記により、今回の事象が発電所における作業に起因したものではないことを確認

○今後の対応

一連の警報発生の原因について調査を実施するとともに、セシウム-137等の発電所における作業に起因する核種が有意に検出されていない場合においても、警報発生によりご心配をおかけしないよう、必要な対策を検討し、実施してまいります。